

令和 7 年 7 月 2 4 日
京都市文化市民局美術館
(担当：畑中、開口 075-771-4107)

京都市京セラ美術館ネットワークシステム再構築に関する情報提供依頼について
(Request For Information)

京都市京セラ美術館では、令和 2 年のリニューアルオープンに伴い導入したチケット販売システムや館内 LAN 等の運用のため、ネットワークシステムを構築して運用しています。

この度、システムを構成する機器の耐用年数や保証期限が到来すること、また、現行システムの通信の不安定性や、運用保守に対応できる事業者が特定の 1 社に限られてしまう課題等を解消するため、システムの再構築を検討しております。

つきましては、ネットワークシステム再構築の検討を行う際の参考資料として活用させていただくため、下記のとおり、事業者の皆様には有益な情報の提供を依頼いたします。

記

1 現状と課題等について

(1) 現状

「美術館窓口での入場券の販売・発券、入場者管理（入場処理、集計等）、オンラインチケット販売等を一元的に管理・運用するためのチケット販売・入場管理システム」及び「各所にある館内 LAN」等を運用するため、ネットワークシステムを構築して運用している。

(現行ネットワークシステムの主な構成機器)

- ・外部接続ルータ
- ・ファイアウォール
- ・コア L3 スイッチ
- ・監視サーバ
- ・フロア L2 スイッチ
- ・エッジ L2 スイッチ

※ 「(別紙) 現行の京都市京セラ美術館ネットワークシステム 構成イメージ図」を参照

(2) 課題

令和2年度の導入から5年以上が経過した中で、以下のとおり課題が生じている。

- ・ネットワークシステム導入から5年以上が経ち、耐用年数や保証期限が到来する機器がある（サーバ等）。
- ・POS レジでチケットを発券する際、画面遷移の速度や、キャッシュレス端末の動作速度が常時遅い状態となっている。チケット販売システム導入事業者によると「端末側の不具合は確認されず、館内通信の不安定性や、特殊な通信構造が原因として考えられる」と推測されている。
- ・ネットワークシステムが、当初構築した事業者1社のみが変更や保守を行うことができる仕様になっていると考えられ、ネットワークの保守や変更改修等を実施できる事業者が当該ネットワークシステムを構築した事業者に限られてしまい、価格の競争性が働かず、保守・改修費用が高額になるほか、当該事業者による対応が困難となった場合のリスクが大きい。

上記により、円滑なチケット販売等を行うことができず、来場者の多い日はチケットカウンターに購入待ちの長蛇の列ができてしまうなど、美術館運営に大きな支障が発生していることや、緊急のシステム改修等に対応できない事態が生じることから、「安定した通信」「第三者保守が可能な標準的な仕様」を実現できるネットワークシステムに再構築する。

2 システム要件

(1) 前提条件

- ア 当美術館所有の既存のネットワークシステムを撤去し、チケット販売システム及び館内LAN等を円滑に運用するための基盤としてのネットワークシステムを再構築すること。
- イ 構築するネットワークについては、特定の事業者が所有する特許技術に依存せず、可能な限り一般的な技術を用いることで、複数の事業者による保守運用（第三者保守）を可能とすること。
- ウ 将来的な機器の追加や構成の変更を考慮した拡張性あるものとするとともに、安定性を確保するため冗長性を持たせた仕様とすること。

(2) 機能要件

- ア 接続する現行のチケット販売システムはクラウドシステムであるが、将来的にオンプレミス形態のシステムに入れ替える場合も想定し、クラウドシステム又はオンプレミスのどちらのシステム形態にも対応する総合ネットワーク構築の機器構成とすること。
- イ 大容量の通信が発生しても遅延することなく、安定した通信速度を実現できるこ

と。

ウ 将来的にネットワークシステムで取り扱うデータ量が増加した場合であっても、ネットワークシステムの拡張が容易であること。

エ ネットワークシステム更改時において、円滑にデータ移行ができよう、システムで管理するデータを汎用的なデータ形式で出力できるようにすること。

(3) セキュリティ要件

ア 通信

(ア) 通知はすべて暗号化すること。

イ 不正プログラム対策

(イ) サーバ及び端末に、ウイルス対策ソフトを導入すること。

(ロ) ウイルス対策ソフトやファームウェアは、常に最新のバージョンを利用できるとともに、ウイルス対策ソフトの定義ファイルが更新された場合は、速やかに適用できること。

ウ 脆弱性対策

(ア) 導入するソフトウェアについては、修正プログラムやバージョンアップの提供等、開発元等のサポートがある信頼性の高い製品を利用すること。

(ロ) OS やソフトウェアに脆弱性が発見された場合は、システムへの影響、重要性等を検証のうえ、速やかに修正プログラムを適用できること。

(4) 運用保守要件

ア 保守体制

(ア) システム稼働中は、土日祝日を含めた保守対応とすること。原則として年末年始の休館日（12月28日～1月2日）を除く毎日午前9時30分から午後7時までとする。

(ロ) システムに関する問い合わせや作業依頼に対して、迅速かつ的確に対応するとともに、京都市が希望する場合には現場対応を行うこと。

イ 不正プログラム対策

(ア) 導入したソフトウェアにおける脆弱性の有無の確認を行うとともに、ソフトウェアに係る修正プログラムが公開された場合は、システムへの影響、重要性等を検証し、京都市と協議の上、速やかに修正プログラムを適用すること。

(ロ) ウイルス対策ソフトやファームウェアは、常に最新のバージョンを利用するとともに、ウイルス対策ソフトの定義ファイルが更新された場合は、速やかに適用すること。

(ロ) スケジューリングにより定期的にウイルススキャンを行うこと。

ウ 障害発生時の対応

(ア) ネットワーク障害が発生していないか監視し、異常を検知した場合は速やかに復旧作業を行うこと。なお、現地対応の必要があれば直ちに現地へ到着して復旧

作業を行うこと。復旧後、障害発生から復旧までの状況を速やかに京都市へ報告すること。

エ その他

- (ア) システムのアクセスログ、操作履歴、閲覧履歴、障害記録等、システムの利用状況及び処理状況を把握するために必要なログを取得すること。
- (イ) 利用者の操作履歴は、オンライン処理等により確認できること。
- (ウ) 定期的にシステム及びデータのバックアップを取得し、システム及びデータの復旧を可能とすること。
- (エ) 機器の追加や構成の変更が必要になれば、機器の選定や手法等について、京都市へ適格に助言等を行うこと。
- (オ) 年1回程度のハードウェアの出張定期点検を行うこと。

(5) その他の要件

ア 現行ネットワークシステムの撤去及び新規ネットワークシステムの構築作業に際しては、美術館運営への影響が最小限となるよう、原則、日曜日の夜～翌月曜日早朝（午前6時頃）の範囲内で全ての作業を完結させ、安定的に稼働させること。

イ 現在利用しているチケット販売システムや館内 LAN 等について、ネットワークシステム入れ替え直後から通常通り使用できるよう、各機器の設定、ポート設定等を行うこと。

ウ ネットワークシステムの構築後、仮に第三者による保守を行うことになった場合については、構築したネットワークの保守に必要となる全ての情報を京都市の求めに応じて保守事業者を提供すること。

3 情報提供の依頼事項

前項までの要件を満たすシステムについて、次の項目に関する情報を提供してください。

(1) システムの構築方法

システムの構築方法（パッケージソフト、独自開発、ASPなど）

(2) システム構成（機器及びソフトウェア）

ア 上記(1)の要件を満たす安価で最適なシステム構成（サーバ及びネットワーク機器の選定、構成図などを含む。）

イ 機器については、各製品の型番、仕様等

ウ ソフトウェアについては、OS、ミドルウェア、パッケージソフト等の名称、動作環境、ライセンス料の考え方

(3) システムの機能

ア 別添の様式1「要件チェックシート」に記載した機能要件のうち、以下の種別に分類し、それぞれについて回答してください。

- | |
|------------------------|
| 1…パッケージの標準機能により実現可能 |
| 2…パッケージのオプション機能により実現可能 |
| 3…パッケージのカスタマイズにより実現可能 |
| 4…個別の独自開発により実現可能 |
| 5…実現不可能 |

イ その他標準で実装されている機能があるときは、その情報を御提供ください。

(4) 概算費用（初期経費及び維持管理経費）

別添の様式2「経費内訳書」により、今回のシステム構築の費用とその内訳を詳細に記載してください。カスタマイズや独自開発を行う場合は、機能ごとの費用が分かるように記載してください。

様式2を使わず自社様式の見積書を提出しても構いませんが、様式2と同様の内訳が分かり、他者提出の見積内容と比較可能となるように記載ください。

なお、概算費用は以下の3パターンを作成してください。

ア 当初にシステム構築や機器類の調達に係る費用を一括で支払いし、その後は運用保守費用を5年間支払う場合

イ システム構築や機器類の調達、運用保守費用を含めて5年間のリース契約を行う場合

ウ システム構築や機器類の調達のみ5年間のリース契約を行い、運用保守費用は含めない場合

(5) 導入効果

利便性の向上、経費の削減等の観点から、今回、情報提供いただいたシステムを導入することにより得られる効果について、情報を御提供ください。

(6) データの移行方法及びその経費

(7) 構築スケジュール

(8) 運用保守体制

(9) 運用開始後の機能改修に係る経費に対する御社の考え方

(10) 他の自治体における同様のシステムの導入実績

(11) 御社の概要（売上高、従業員数、保有資格、実績等）

4 現地説明会

本RFIの実施に当たり、現地説明会を開催します。参加希望の事業者様は、事前に以下によりお申込みください。

なお、参加可能人数は1グループ（1社）につき2名までです。

(1) 開催日時

令和7年8月7日（木）午後3時～午後5時

(2) 場所

京都市京セラ美術館 地下1階 講演室

(3) 申込方法

様式3の申込書を「7 問い合わせ先」に記載する担当者まで送付してください。

(4) 申込期限

令和7年8月5日（火）午後5時まで

5 提供資料について

(1) 資料の提供方法

様式を指定しているものについては、その様式に御記入ください。また、指定のないものについては、A4サイズ（縦横自由）にまとめてください。

(2) 提供先及び提出方法

「7 問い合わせ先」に記載する担当者宛てに電子メールで送付してください。

(3) 提供部数

PDF、ワード、エクセル等の形式によるデータ：1式

(4) 提供期限

令和7年9月5日（金）午後5時まで

6 注意事項

- (1) この資料による情報提供の依頼は、情報システムに関する技術や価格等の各種情報を得るためのものであり、将来の情報システムの調達を保証するものではありません。また、情報提供がなかった事業者について不利益に扱うこともありません。
- (2) 御提供いただいた資料は、本市内部での検討資料として利用します。また、御社に断りなく、第三者へ提供することは致しません。
- (3) 御提供いただいた資料については返却致しません。
- (4) 御提供いただいた資料の内容について、後日問い合わせを行う場合があります。

7 問い合わせ先

京都市文化市民局美術館

担 当：畑中、開口

所在地：京都府京都市左京区岡崎円勝寺町 124

電 話：075-771-4107

E-Mail：bijutsukan@city.kyoto.lg.jp

（電子メールによるお問い合わせは、上記アドレスに送信してください。）